

第1回松本マラソン 参加ランナーアンケート 報告書

(2017年10月2日～31日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4

松本マラソン実行委員会
一般社団法人 長野県世論調査協会

I 調査の設計

◆調査の目的

第1回松本マラソンは10月1日、松本市総合体育館前～信州スカイパーク陸上競技場の42.195キロで開催した。8611人が出場し、6849人（男子5716人、女子1133人）が完走。男子は中尾勇生選手（スマイリー）、女子は木下裕美子選手（SWAC）が優勝した。

松本マラソン実行委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と松本市のまちづくりのあり方を探るため、参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

◆調査の設計

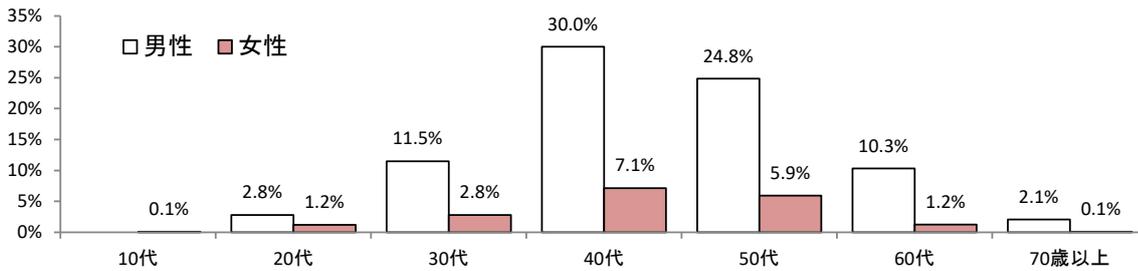
▽調査対象	8498人
▽調査方法	調査票を郵送、回収はインターネット、郵送、ファックス
▽調査期間	2017年10月2日～31日
▽回収結果	有効回収数 1784人（回収率20.99%）
▽調査主体	松本マラソン実行委員会 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆サンプルの内訳

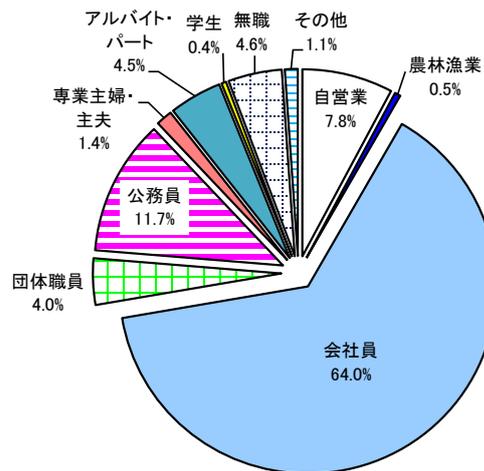
【性別と年代】

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	1784	2	71	255	662	549	206	39
	100.0%	0.1%	4.0%	14.3%	37.1%	30.8%	11.5%	2.2%
男性	1454	-	50	205	535	443	184	37
	81.5%	-	2.8%	11.5%	30.0%	24.8%	10.3%	2.1%
女性	330	2	21	50	127	106	22	2
	18.5%	0.1%	1.2%	2.8%	7.1%	5.9%	1.2%	0.1%



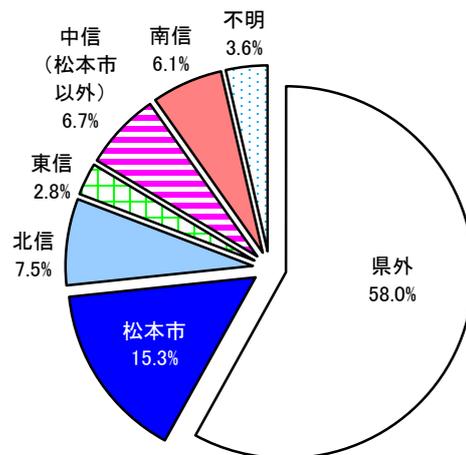
【職業】

自営業	139	7.8%
農林漁業	9	0.5%
会社員	1142	64.0%
団体職員	71	4.0%
公務員	208	11.7%
専業主婦・主夫	25	1.4%
アルバイト・パート	81	4.5%
学生	7	0.4%
無職	82	4.6%
その他	20	1.1%



【居住地】

県外	1035	58.0%
長野県内	749	42.0%
松本市	273	15.3%
北信	134	7.5%
東信	50	2.8%
中信(松本市以外)	119	6.7%
南信	109	6.1%
不明	64	3.6%



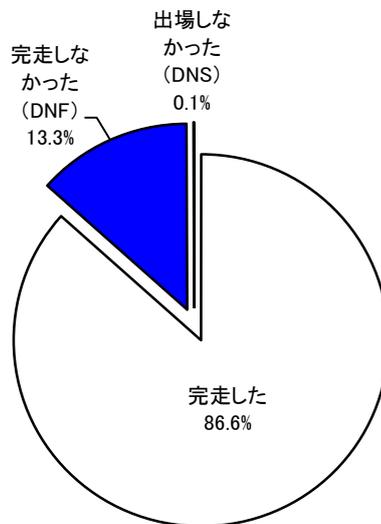
【都道府県】

北海道	10	1.0%
青森県	-	-
岩手県	1	0.1%
宮城県	2	0.2%
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	1	0.1%
茨城県	6	0.6%
栃木県	4	0.4%
群馬県	21	2.0%
埼玉県	81	7.8%
千葉県	48	4.6%
東京都	201	19.4%
神奈川県	91	8.8%
新潟県	10	1.0%
山梨県	17	1.6%
富山県	14	1.4%
石川県	4	0.4%
福井県	10	1.0%
岐阜県	33	3.2%
静岡県	26	2.5%
愛知県	148	14.3%
三重県	18	1.7%
滋賀県	5	0.5%

京都府	17	1.6%
大阪府	60	5.8%
兵庫県	24	2.3%
奈良県	11	1.1%
和歌山県	3	0.3%
鳥取県	2	0.2%
島根県	2	0.2%
岡山県	10	1.0%
広島県	5	0.5%
山口県	2	0.2%
徳島県	2	0.2%
香川県	-	-
愛媛県	2	0.2%
高知県	-	-
福岡県	10	1.0%
佐賀県	1	0.1%
長崎県	1	0.1%
熊本県	4	0.4%
大分県	1	0.1%
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	1	0.1%
不明	126	12.2%

【完走タイム】

完走した	1545	86.6%
完走しなかった(DNF)	238	13.3%
出場しなかった(DNS)	1	0.1%



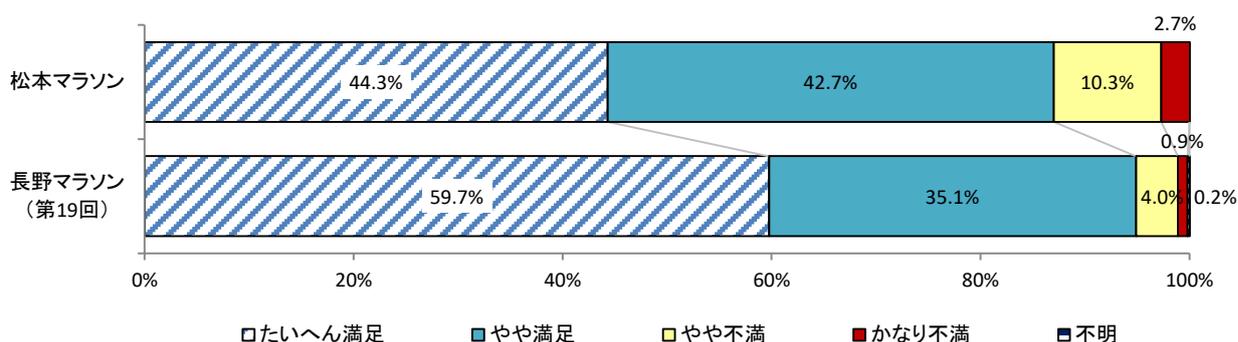
II 結果の概要

参加の感想 「満足」全体で87%

松本マラソンに参加した感想は「たいへん満足」が44%、「やや満足」が43%で合わせて87%が満足と答えた。

年代別では10代～20代で「たいへん満足」が58%、30代で48%と若年層で満足度が高め。

第19回長野マラソン参加者アンケートとの比較では、「満足」の全体で長野マラソンが8ポイント高い。



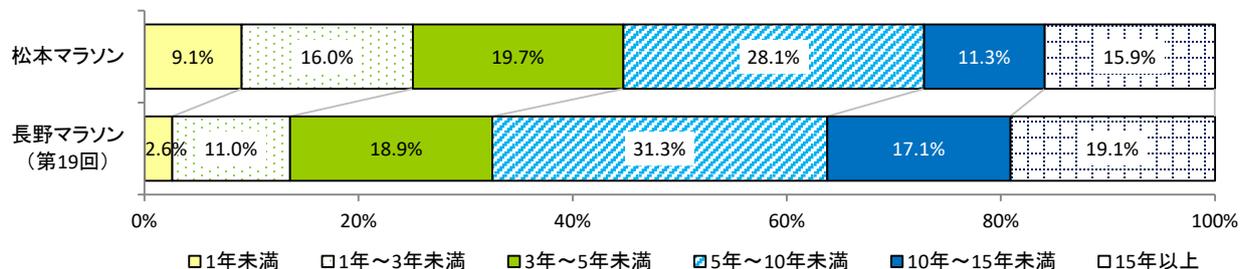
マラソン歴 「5年～10年未満」が28%

マラソンを始めてからの期間を聞いたところ「5年～10年未満」が28%で最多。「3年～5年未満」が20%、「1年～3年未満」と「15年以上」が16%と続く。

年代別では、60代以上で「10年以上」が半数を超え、高齢層でマラソン歴の長い人が多い。

居住地域別に見ると、松本市在住の人で「1年未満」が26%と高く、松本市以外の中信でも「1年未満」と「1年～3年未満」合わせて32%と高め。松本市を中心とした地域で、松本マラソンの開催を機にマラソンを始めた人が多いことがわかる。

長野マラソンとの比較では、松本マラソンで「1年未満」、「1年～3年未満」、「3年～5年未満」が高めで、松本マラソンの方がマラソン歴の短い人が多い傾向。



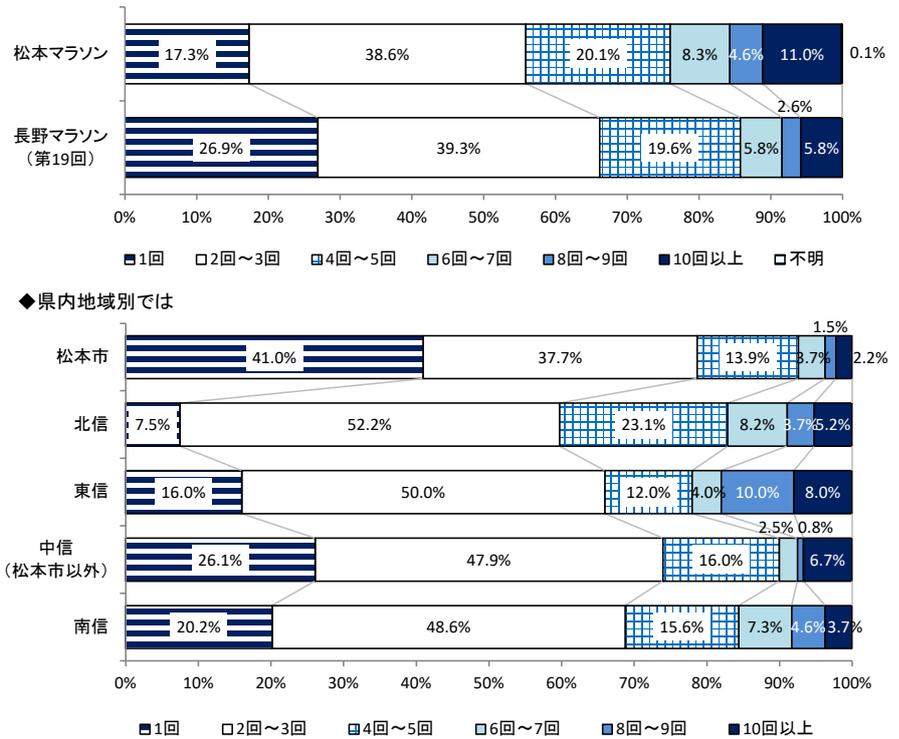
フルマラソン出場回数 松本在住者は「1回」が41%

この1年間にマラソンに出場した回数で最多は「2回～3回」の39%。次いで多かったのは「4～5回」(20%)で、以下「1回」(17%)、「10回以上」(11%)と続く。

年代別では、「1回」が10代～20代で38%、30代で25%と若年層で高い一方、「10回以上」が70歳以上で23%と高く、年代差が大きい。

居住地域別では松本市で「1回」が41%、県内他地域より10ポイント以上高い。

長野マラソンとの比較では「1回」は長野マラソンが10ポイント高く、「6回～7回」、「8回～9回」、「10回以上」の合計では松本マラソンの方が10ポイント高い。

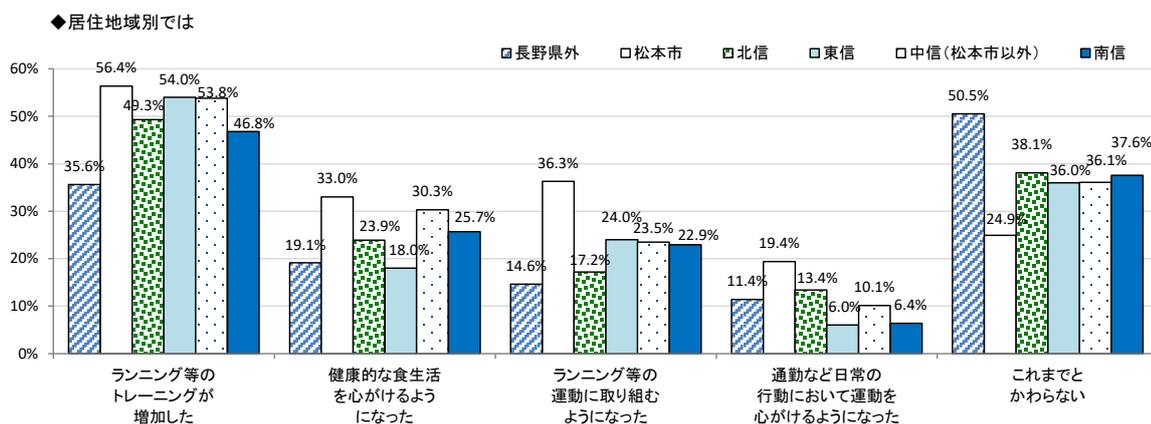


日頃の行動の変化 「ランニング等のトレーニング増加」4割

松本マラソンに参加したことで日常の行動にどのような変化があったか複数回答で聞いた。「これまでとかわらない」が43%で最も高く、「ランニング等のトレーニングが増加した」が42%で並ぶ。以下「健康的な食生活を心がけるようになった」(23%)、「ランニング等の運動に取り組むようになった」(20%)、「通勤など日常の行動において運動を心がけるようになった」(12%)と続く。

年代別では変化があったのは若年層が高めで、一方「これまでとかわらない」は50代と60代で半数。

居住地域別では県内勢は県外勢に比べ「ランニング等のトレーニングが増加した」、「健康的な食生活を心がけるようになった」、「ランニング等の運動に取り組むようになった」が高く、とりわけ松本市の高さが目立つ。

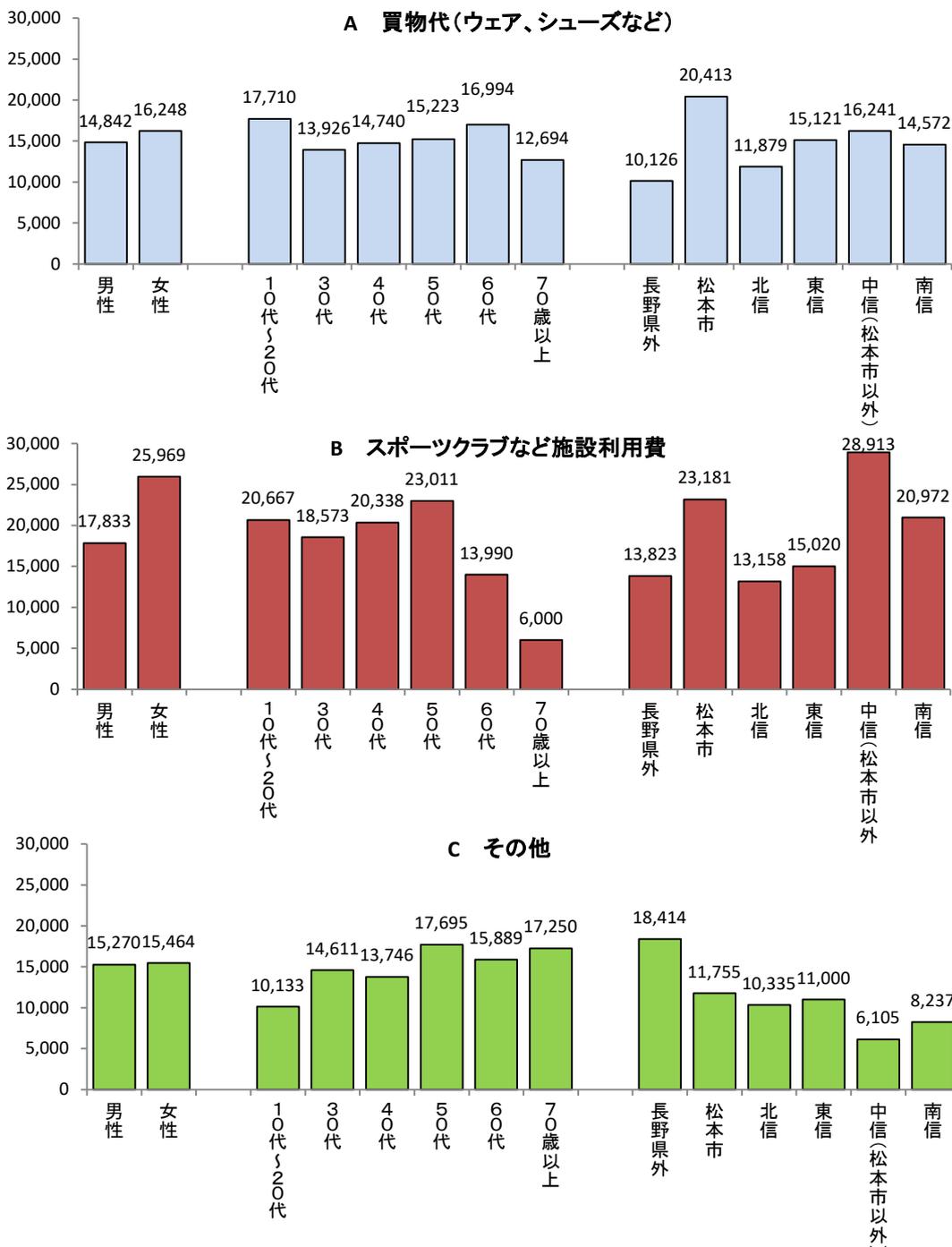
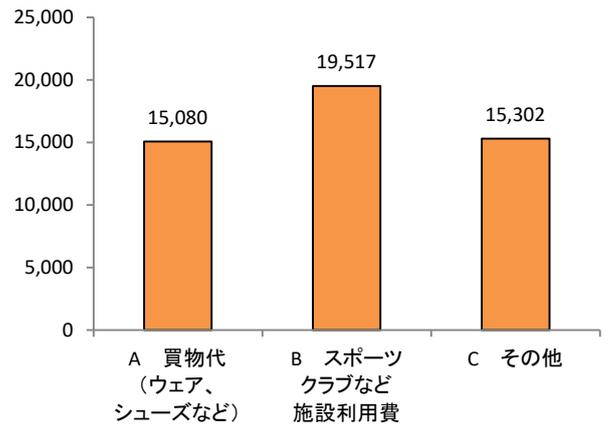


大会準備に県内で支出した金額

「施設利用費」松本市・中信で高め

松本マラソンの出場を決めてから準備において長野県内で支出した金額を3項目について具体的な金額を聞いた。支出金額の平均は買物代（ウェア、シューズなど）は15,080円、スポーツクラブなど施設利用費は19,517円、その他は15,302円だった。

属性別に見ると、買物代は女性・10代～20代・60代・松本市、施設利用費は女性・50代・松本市・中信、その他は50代・70歳以上・県外で高い。

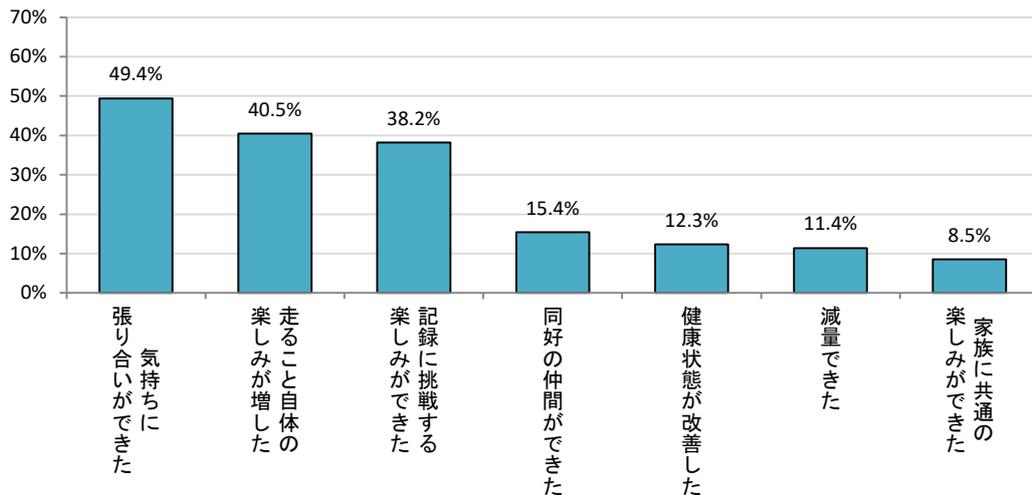


効果 「気持ちに張り合いができた」 5割

松本マラソンに参加してどのような効果があったか複数回答で挙げてもらった。「気持ちに張り合いができた」が49%で最多で、次いで「走ること自体の楽しみが増した」が41%、「記録に挑戦する楽しみができた」が38%、「同好の仲間ができた」が15%で続く。

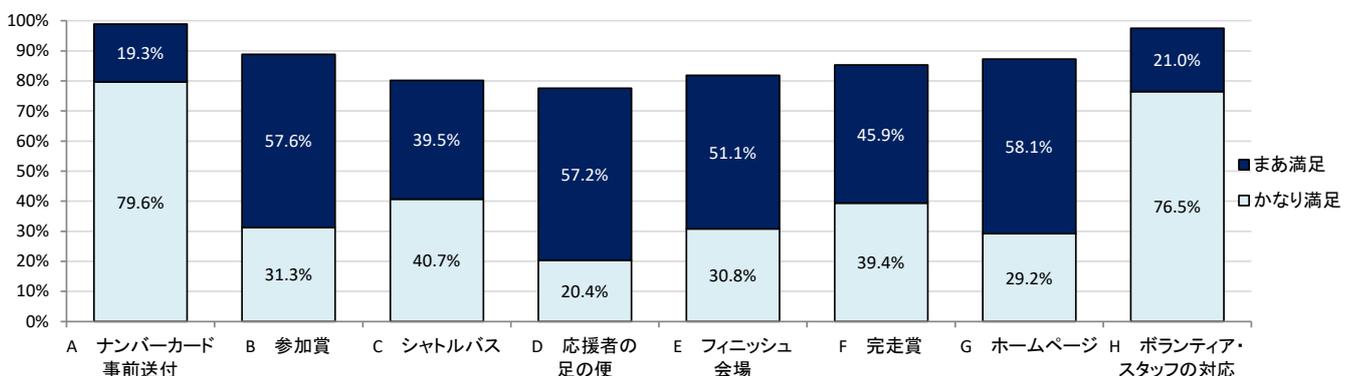
男女別では、女性は「同好の仲間ができた」と「家族に共通の楽しみができた」が男性より9ポイント高い。

居住地域別では松本市は県外・県内各地域と比べて「走ること自体の楽しみが増した」、「同好の仲間ができた」、「減量できた」が最も高い。



満足度 大会運営・催し物 ナンバーカード事前送付「かなり満足」8割

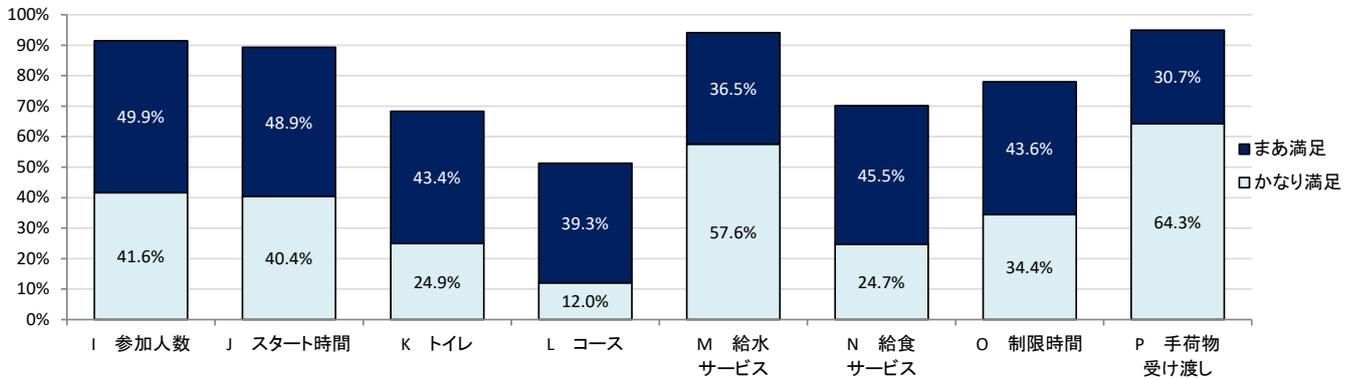
8項目の中で最も満足度が高かったのは「ナンバーカード事前送付」で、「かなり満足」と「まあ満足」の合計で99%が満足と回答した。次いで高かったのは「ボランティア・スタッフの対応」の98%、「参加賞」の89%、「参加賞」の89%、「ホームページ」の87%。満足度が低かったのは「応援者の足の便」の78%で、「かなり満足」は20%。



注:「C シャトルバス」、「D 応援者の足の便」については、利用した人の回答のみ集計した

満足度 レース運営・サービス コースに「満足」全体で5割

レース運営・サービスの満足度が9割を超えたのは「手荷物受け渡し」(95%)、「給水サービス」(94%)、「参加人数」(92%)の3項目。一方、満足度が最も低かったのは「コース」の51%で、「かなり満足」は12%にとどまる。

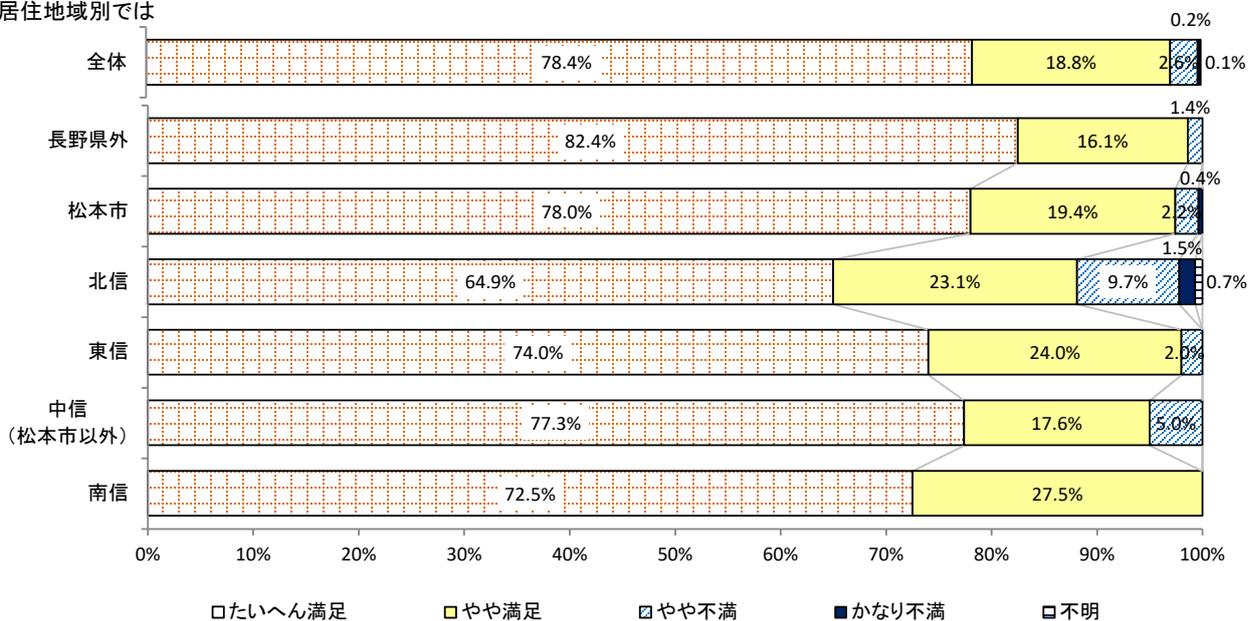


市民の声援や一体感 「たいへん満足」8割

市民の声援や一体感について、「たいへん満足」は78%、「やや満足」は19%で、合わせて97%が満足と回答した。

属性別では「たいへん満足」は女性、10代~20代と30代、県外勢、完走タイム4時間30分未満といった層で8割を超える。

◆居住地域別では

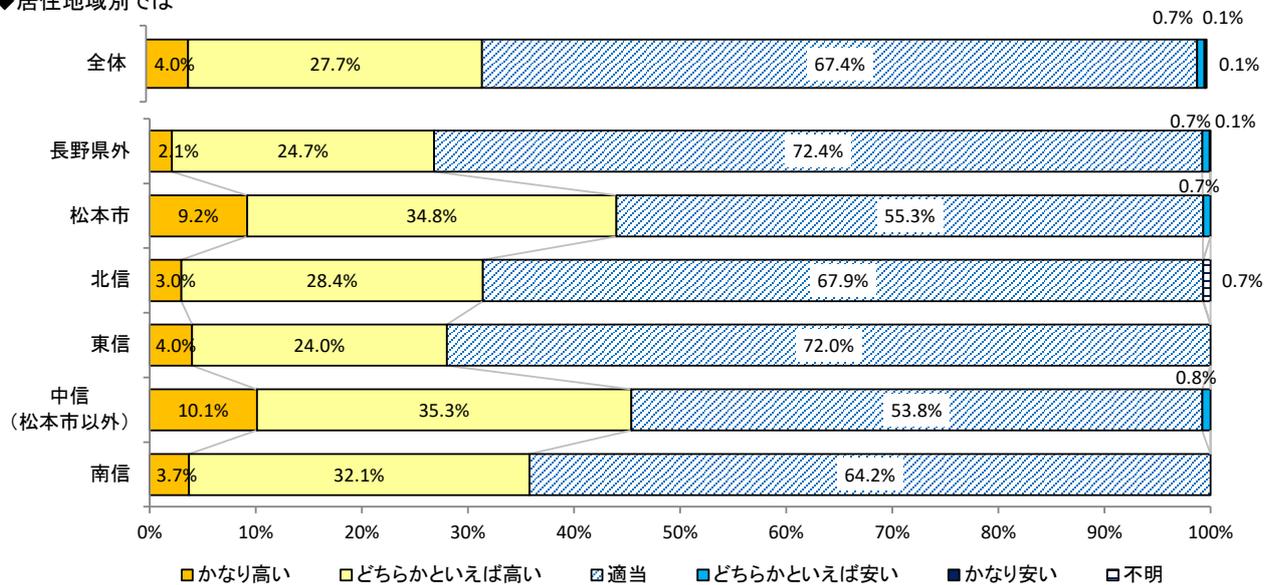


参加料 県外勢「適当」72%

参加料について「適当」が67%で3人に2人に上る。「かなり高い」は4%、「どちらかといえば高い」は28%で、「かなり安い」と「どちらかといえば安い」は合わせても1%に満たない。

居住地域別では「高い」は県内勢39%で、県外勢の27%より12ポイント高い。

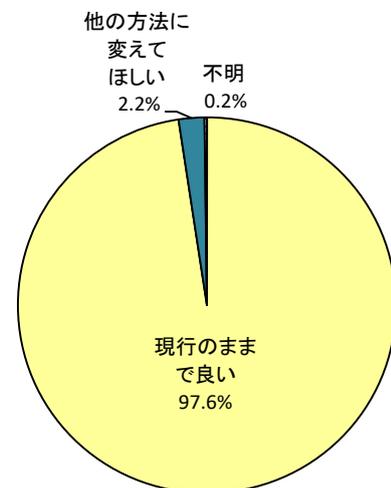
◆居住地域別では



エントリー方法 「現行のままで良い」98%

エントリー方法について「現行のままで良い」は98%、「他の方法に変えてほしい」は2%で、肯定的な回答が大部分を占める。

ほとんどの属性で「現行のままで良い」が95%以上だが、70歳以上のみ92%と低め。



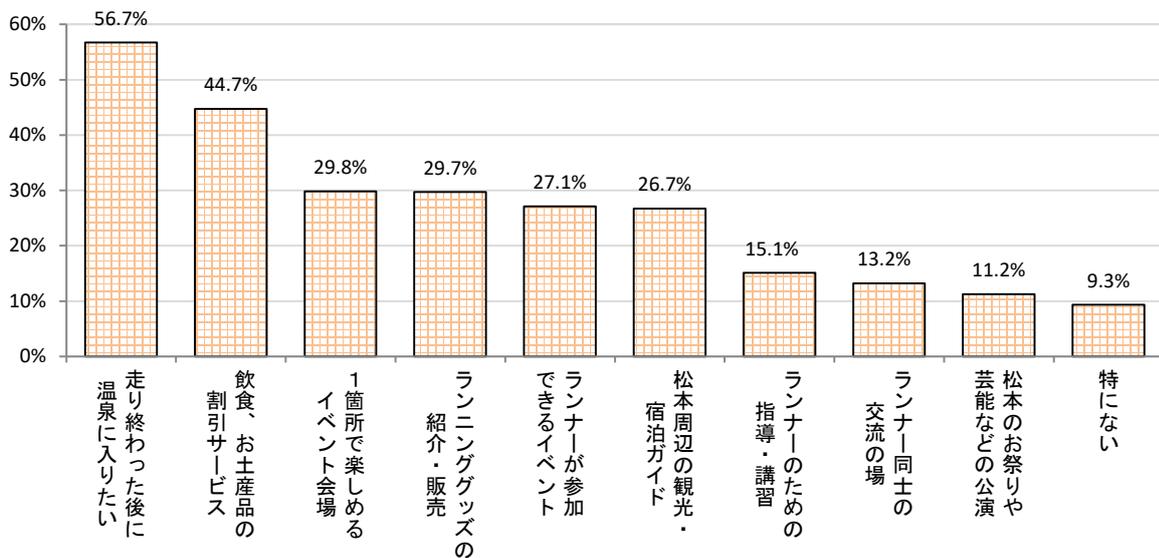
地元の受け入れ態勢やイベントへの要望

「走り終わった後に温泉」57%

地元の受け入れ態勢やイベントに関して、要望を挙げてもらった（複数回答）。

「走り終わった後に温泉に入りたい」が最多の57%で、2番目に多かったのは「飲食、お土産品の割引サービス」の45%。以下「1箇所で楽しめるイベント会場」と「ランニンググッズの紹介・販売」が30%、「ランナーが参加できるイベント」と「松本周辺の観光・宿泊ガイド」が27%で続く。

居住地域別では県外勢で「走り終わった後に温泉に入りたい」、「飲食、お土産品の割引サービス」、「松本周辺の観光・宿泊ガイド」が高い。松本市は「ランナーのための指導・講習」が34%で、4番目に挙げているのが目立つ。



松本までの往復と滞在

何人で来たか 「ひとり」53%

松本マラソンに来た際の人数は「ひとり」が53%で、「家族や仲間と」が48%。10代～20代と30代は「家族や仲間と」が半数を超え、70歳以上は「ひとり」が約6割。

長野マラソンでは「ひとり」が53%、「家族や仲間と一緒に」が45%で今回調査とほぼ同じ。

